

防災講演会

東日本大震災で九死に一生を体験 「あの日を忘れない」

東日本大震災から15年が経過しようとしています。時間が経ち、日常生活が戻ると被災の記憶は薄れてしまいがちです。災害の記憶を風化させず、あの日の教訓から学び、命を守るために私たちができることを考えてみましょう。



講師 ^{ささき}佐々木 ^{じんいち}仁一氏

<講師プロフィール>

東日本大震災当時、宮城県南三陸町教育委員会生涯学習係長兼文化財保護係長兼スポーツ振興係長。避難所物資の支援班長などを経験。のち、志津川公民館長兼戸倉公民館長兼入谷公民館長兼歌津公民館長兼図書館長。現在、南三陸町文化協会会長ほか。

日時 11.18 火 14:00～15:30
(受付開始 13:30～)

会場 ユートピアくびき希望館
(住所:上越市頸城区百間町716)

内容 自身も津波に飲み込まれ、九死に一生を得た経験談と災害時に生き延びるための考え方・方法をお話いただきます。
また、避難所運営、物資の受け入れの仕方、震災後の公民館運営などについてもお話いただく予定です。(参加費無料)

【問合せ先：事務局】 上越市教育委員会社会教育課 (025-545-9268)

※この講演会は、社会教育関係者の研修会として開催します。
一般聴講を希望される方は、11月14日(金)までに社会教育課またはお近くの地区公民館までお申し込みください。